

平成23年9月30日

福岡工業大学
福岡工業大学短期大学部 学長殿

学 部：短期大学部
学 科：情報メディア学科
氏 名：藤村 尚史

2011年夏期英語研修報告書を下記の通り提出致します。

記

私は、夏期英語研修に参加する前まで将来についてとても悩んでいました。福岡工業大学短期大学部になんとなく入学し、ただ何も考えず毎日を送っていました。二年生になり、就職について考え出すようになりました。しかし、自分は何が得意で何が不得意なのか、また、何がしたいのかなどわからないことばかりで、日に日に学校にも行きたくなくなりました。

そんなある日、いつものように将来何になろうかを考えているとあることに気づきました。

それは、経験が少ないということでした。何も経験したことないからいくら考えたって何になりたいかなんて見つからないということに気づきました。私は、最初からできない、苦手と決め付け、挑戦するということをしたことがありませんでした。そのことから福工大に英語研修というプログラムがあるということを知りました。英語はもともと好きでしたが、苦手と決め付けて勉強しようとしていませんでした。なので、この英語研修で英語を勉強し、普段の生活でできない経験がしたいと思い、参加を決意しました。また、英語研修での目標は、何かを得るということに決めました。

研修メンバーはほとんどが大学の方の人達で仲のいい人がいなくて不安でした。そして、あっという間に渡米当日になりました。緊張と興奮で前日は中々寝むれず、寝不足のまま福岡空港に行きました。待合室で緊張している私に声をかけてきたのは、優でした。優とは同じ年ということでどんどん仲良くなっていきました。優もまた、将来について悩んでいるということでお互い研修中刺激し合おうと決めました。飛行機に乗り最初に着いたのは、台北でした。台北では6時間も滞在時間があつたため他のメンバーとの交流ができました。

そしてまた、飛行機に乗り、あっという間にアメリカに到着しました。まず、日本とアメリカの温度の違いに驚きました。行く前から T シャツだけだと肌寒いと聞いていましたが、本当に雲ひとつない晴天で暑そうにみえて全然暑くないのです。その時、違う国に来たのだと実感しました。

そして滞在する、CSUEB に行きました。とても広く自然あふれる大学でした。そうやって、私の三週間の英語研修が始まりました。

毎日8時に起き、授業にでるそんな日本でもする日常が、アメリカでは全然違いました。メンバーと信じられないほど仲良くなり、また将来を話せる仲間とも出会いました。毎日が楽しく、毎日が新しい経験で充実した毎日になりました。

そのなかでも、一番いい経験になったのは、ホームステイです。ホームステイでは、日系アメリカ人の方にお世話になりました。たくさんのお話をし、公園や海などさまざまなところに連れて行ってもらい人の温かみに触れました。しかし、そこで感じたのは自分の語意力のなさでした。伝えたい気持ちはいっぱいあるのに全部を伝えられない歯がゆさがとても悔しかったです。

この英語研修で一番心がけていたことは、一日一日をしっかりと生きて、たくさんの人と話すとことでした。一日一日を生きるというのは、何も考えずに普通に生活するのではなく、自分は何をしにアメリカに来たのかということのを常に頭に入れ、すべてを将来のための経験にしようと思いました。その結果たくさんのお話を経験できたと実感しています。

私は、この英語研修でアメリカという国にもっと興味を抱きました。将来またアメリカに行き、ホームステイの家族とたくさんのお話をしたいと思っています。また、いまは福工大に入学してよかったと思っています。それは、この英語研修に行けたからです。これから、福工大でしっかりと勉強して卒業した後、またアメリカでいろいろな経験をしたと考えています。

私がこの英語研修で決めた目標「何かを見つける」は達成できました。たくさんのためになることを見つけることができましたが、何より将来の目標を見つけることができました。

この英語研修は私の人生の中で本当にかげがえのないものです。